



28日 こども記者活動

禅の世界 触れよう

今回の福井新聞「こども記者」活動は28日、曹洞宗の大本山、永平寺(永平寺町志比)が、近くの旧参道沿いに開設した宿泊施設「柏樹関」取材します。心をととのえる座禅の体験や、感謝の気持ちで作られる身近な食材を使った本格的な精進料理を味わうプログラムで、永平寺が誇る「禅の世界」に触れてみよう。

永平寺は道元禅師が1244年に開いた禅宗の寺院で、福井を代表する観光名所。柏樹関は7月末に、福井県、永平寺町、永平寺が連携するプロジェクトの一環としてオープンしました。当日は、永平寺で研修を受

永平寺「柏樹関」へ



福井新聞こども記者活動で、座禅体験などを行う大本山永平寺の「柏樹関」永平寺町志比

けた「禅コンシェルジュ」の案内で、越前和紙や越前焼など県産品が使われる客室などを見学。座禅体験では、あいさつや心構えのほか、足や手の組み方、姿勢などの基本を学びます。心を静めて自分を見つめ直す機会になるかも。厳しい修行に励む永平寺の雲水の食事は菜食で精進料理と言われ、ごま豆腐やがんも

どきなどがあります。記者活動では実際の調理場を見学し、永平寺で食事作りを務める「典座」から指導を受けた料理人にインタビュー。精進料理に込められた「命をいただく」精神を学んでみよう。記者活動は、柏樹関に午前10時までに集合し、午後1時ごろ解散予定。定員6人。参加は無料。(山口晶永)

活動に参加するには、こども記者への登録が必要です。登録は①名前(ふりがな)②性別③学校・学年④保護者の名前⑤郵便番号、住所⑥電話番号(携帯電話も)・メールアドレスを明記し、メールで申し込んでください。県内の小学4年〜中学3年生なら誰でも登録できます。こども記者に登録済みの場合、参加申し込みは名前と学校・学年のみでOKです。締め切りは18日。応募多数の場合は抽選になります。申し込み、問い合わせは福井新聞「こども記者係」=メールnie@fukushimbun.co.jp